

米国におけるコネクテッドカーサービスについての消費者調査（2018年）

【概要】

本調査では、米国におけるコネクテッドカーアプリケーションについて現在の使用状況を分析しています。また、車両セグメント、ブランド、および消費者の嗜好別に消費者分析の分岐点を取り上げています。具体的には、自動車の購入と所有権に関する消費者の視点、車載デジタルアシスタントの使用例、使用頻度、および関心の高まりの理由、車載オンラインインフォテインメントサービスと車載機能について現状と今後の展望、コネクテッドカーサービスに対する新たな嗜好、データ対応サービスに対する関心、データプライバシーに対する期待、サービスの普及の阻害要因などについて説明しています。調査対象地域は米国、調査対象期間は2018年です。

【内容一覧】

調査の目的と手法

回答者サンプルの概要

エグゼクティブサマリー

車の購入と所有

- 一般的な新車購入基準
- セグメント別上位ブランド
- 自動車の所有と運転に対する考え方
- 自動車技術への関心

デジタルアシスタント

- デジタルアシスタントの使用概況
- 車内でデジタルアシスタントが使用されるデバイス
- 車内で最も使用されるデジタルアシスタント
- 用途別デジタルアシスタントの使用

オンラインサービスと車内機能

- 車内でのオンラインサービスの現在の使用状況
- 現在の車載機能と使用状況
- 車載機能の需要
- 好まれるコネクティドデバイス操作モード
- 好まれるコネクティドサービス使用モード
- 自動運転への関心

テレマティクスおよびナビゲーションサービス

- テレマティクスサービスへの関心
- 好まれるサブスクリプションモデル
- ナビゲーションおよび安全サービスへの関心

データ対応サービス

- データ対応サービスへの一般的な関心
- データ対応サービスへの関心

- データ対応サービスに関心がない理由
- 自動車ディーラーや自動車メーカーとのデータ共有の了承
- データのプライバシーに関する期待
- データ共有に対する報酬/支払いへの期待
- データ対応サービスを提供する自動車メーカーに対する信頼レベル

運転者の個人情報

結論

付録

フロスト&サリバンについて